

タスクフォースの取組状況について

(健康づくり産業振興タスクフォース)

「『健康』×『サービス』×『観光』×『食』×『ものづくり』

先導的モデルづくり」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

(環境・エネルギー産業振興タスクフォース)

「気候変動に適応する技術・製品・サービスの開発を促進する」・・・・・・・・・・ 3

(ICT地域振興タスクフォース)

「ICT利活用による地域振興に資する新たなビジネスモデルの構築」・・・・ 5

(信州農業を革新する技術開発タスクフォース)

「産学官連携による信州農業を革新する技術の開発」・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

(県産品輸出促進タスクフォース)

「『長寿世界一NAGANOの食』・『世界に貢献する工業製品』の

輸出促進」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

(地消地産推進タスクフォース)

「『信州農産物の利用拡大』・『信州の木自給圏の構築』・『エネルギー自立地域の確立の』～地域で消費されるものは、地域で生産～・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

健康づくり産業振興タスクフォースの取組状況

産業戦略室

1 目指す姿

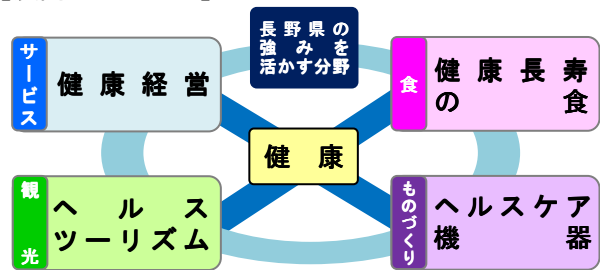
県内各地で展開されている健康長寿の強みを活かしたヘルスケア産業の振興に向けた取組を加速するとともに、健康づくりの県民運動「信州 ACE（エース）プロジェクト」とも連動し、県内において、地方創生の視点も踏まえた次世代のヘルスケア産業を創出することを目指す。

2 推進体制

産学官金民からなる長野県次世代ヘルスケア産業協議会を設立（H27.3 設立。H29.1 現在 24 団体が加入）。

長野県の強みを活かす「サービス」、「観光」、「食」、「ものづくり」の各分野で実証事業等を展開。

【展開のイメージ】



3 これまでの取組

■ 平成 27 年度

- ・健康寿命延伸産業創出推進事業（地域ヘルスケアビジネス創出推進）【経済産業省事業】

■ 平成 28 年度

- ・地方創生加速化交付金
- ・国産農産物消費拡大対策事業補助金【農林水産省事業】

	平成 27 年度	平成 28 年度
サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●健康経営推進モデルの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・事業主の健康経営に関する意識調査 ・事業所の従業員等を対象とした健康増進プログラムによる実証（小規模企業健康増進モデル構築） ・ハンドブックを活用した健康経営の普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ●健康経営に向けたサービスモデルの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・健康運動指導士等が企業を訪問し、効果的な健康プログラムを提供 ・ハンドブック（全県版）を活用した普及啓発 ●温泉旅館入浴介助サービス提供モデル案の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・温泉旅館、入浴介助サービス事業者が連携し、要介護者に対する安価な入浴介助サービスを提供
観光	<ul style="list-style-type: none"> ●個人向けモニターツアーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアー（宿泊・日帰り）を実施 ●PR動画等を活用した森林セラピーの普及促進 <ul style="list-style-type: none"> ・森林セラピーのPR動画を作成し、YouTubeで広く発信 	<ul style="list-style-type: none"> ●エージェントリップを通じた旅行商品造成 <ul style="list-style-type: none"> ・森林セラピーを核に、豊かな自然など地域の強みを活かした旅行商品を造成すべく、旅行会社の担当者等を招聘してエージェントリップを催行 ・新たに森林セラピープログラムを組み込んだ商品開発について一部助成を実施
食	<ul style="list-style-type: none"> ●試食評価票の作成等による商品開発支援体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・統一的な試食評価票を作成し、県産食品を評価 	<ul style="list-style-type: none"> ●試食評価票を活用した商品開発支援 <ul style="list-style-type: none"> ・しあわせ信州食品開発センター等を拠点とした新商品の開発支援 ・試食評価票を活用したモニター評価を通じた商品開発支援

	平成 27 年度	平成 28 年度
食 (続 き)		<ul style="list-style-type: none"> ●国産農産物消費拡大対策事業 ・血中コレステロール値の低下や腸内環境改善等に効果がある長野県オリジナル品種の「もち性大麦」の機能性診断や健康調査等を通じ、食と健康への更なる意識醸成と新商品開発による消費拡大・農産物の生産振興
ものづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘルスケア機器等製品開発事例集の作成 ・国内外へのビジネス展開につなげるため、県内企業が開発したヘルスケア関連製品等をまとめた事例集を作成 ●病院展示体験会 ・現場ニーズの把握による販路開拓や機器の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ●ポールウォーキングによる健康増進モデル創出 ・ポールウォーキングの健康増進効果の検証 ・ポールウォーキングの習慣化や適切なポールの選び方などを普及 ●歩行ケア出張サービスモデルの創出 ・県内企業が開発した歩行計測機を活用した歩行ケア出張サービスの可能性を検証 ●病院展示体験会 ・現場ニーズの把握による販路開拓や機器の改善
共 通	<ul style="list-style-type: none"> ●協議会を通じた意見交換等 ・協議会員の連携強化による効果的な事業展開 ●キックオフフォーラム開催 ・先進事例の紹介 ・県民や県内企業のヘルスケアに対する理解の向上 ●広報・PR 	<ul style="list-style-type: none"> ●協議会を通じた意見交換等 ・協議会員の連携強化による効果的な事業展開 ●産業フェア in 善光寺平への出展 ・協議会の取組の紹介 ・県民や県内企業のヘルスケアに対する理解の向上 ●広報・PR

4 平成 29 年度 of 取組予定

サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●健康づくりとヘルスケア産業の創出が両立する場の形成 ・健康増進コンテンツを活用した健康づくり ・健康づくりの場への参加者に対するマーケティングの実施等による産業創出（製品・サービスの開発支援）
観 光	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘルスツーリズムの振興 ・ネットワーク構築（事業者、大学、旅行会社、長野県次世代ヘルスケア産業協議会等との連携） ・人材育成（事業者向けに先進事例を学ぶセミナーを開催） ・情報発信（パンフレットや映像等を活用した情報発信）
食	<ul style="list-style-type: none"> ●健康に配慮した食品の開発と訴求力に着目した販売促進 ・「しあわせ信州食品開発センター」等を拠点とした新商品開発支援 ・「長寿の里『佐久』プロジェクト」を中心とした新商品開発・販売（レシピ等を活用した販売促進）
ものづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘルスケア機器の開発と販路開拓（サービス分野への展開の進化） ・ポールを使ったウォーキングによる健康増進モデルの創出 ・クラウドを活用した「歩行ケア」モデルの創出 ・看護師用嚥下活動モニタリング装置の実証
共 通	<ul style="list-style-type: none"> ●協議会を通じた意見交換等 ・協議会員の連携強化による効果的な事業展開 ●フォーラムの開催・展示会への出展 ・協議会の取組の紹介 ・県民や県内企業のヘルスケアに対する理解の向上 ●広報・PR

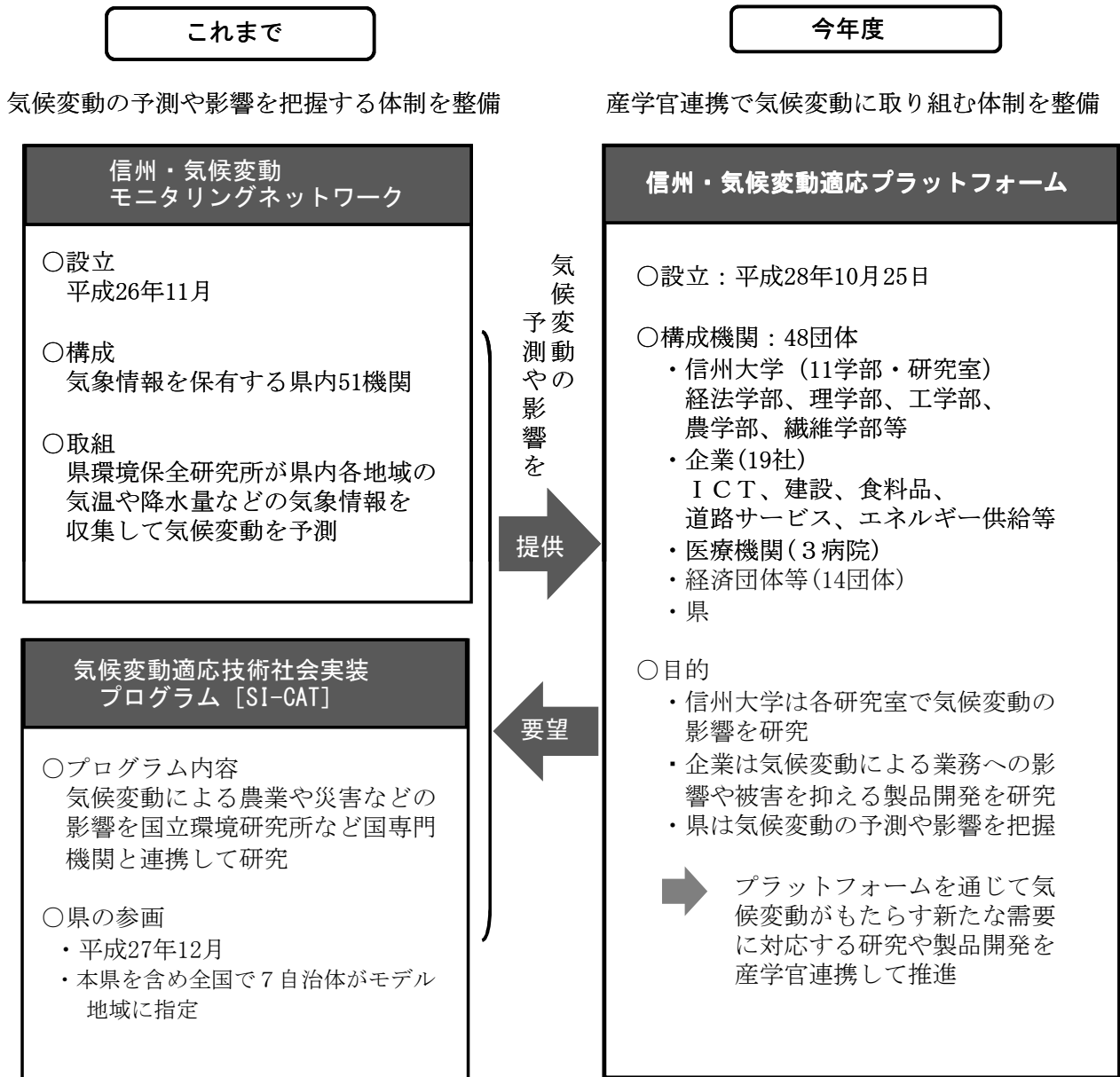
環境・エネルギー産業振興タスクフォースの取組 地球温暖化への適応策

平成29年 2月 9日
環境エネルギー課

1 目指す姿

地球温暖化による気候変動の予測や影響を把握して、気候変動の被害を抑える技術やサービスの開発を産学官が連携して促進。

2 適応策の推進体制

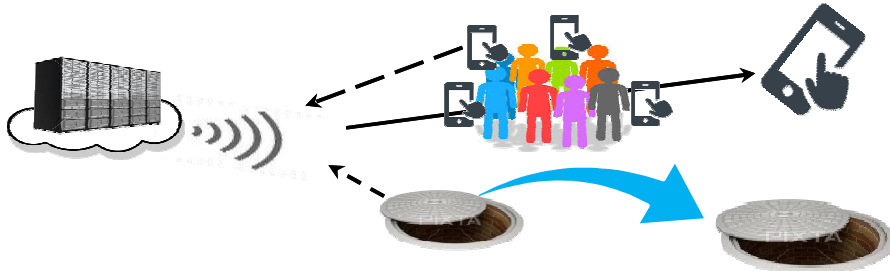


3 今年度の取組

(1) 県民とのリスクコミュニケーション

- ・適応策全国シンポジウムの開催（平成28年11月14日、松本市）
- ・サイエンスカフェ（平成28年 5月20日、7月15、30日、12月16日、長野市）や県政出前講座（平成28年10月28日、安曇野市）で気候変動のリスクを共有

(2) 信州・気候変動適応プラットフォームの分野ごとの取組

分野	課題	研究内容										
防災	ゲリラ豪雨等の短時間豪雨を正確かつ速やかに情報提供	<p>1 下水道氾濫の兆候を把握するシステム [NEC] 急激な下水道路管内の水位上昇を把握するため、水位計測機能を備えたセンサーをマンホールに組み込み、短時間豪雨によって想定される下水道氾濫の兆候を即座に把握する実証実験を実施</p> <p>2 SNSを活用した大雨の状況を推測するシステム [富士通] ツイッターなどSNSに投稿された降雨情報の写真とGPSの位置情報を活かし、想定される降雨地域をスマホで提供し、適切に短時間豪雨からの避難を促すシステムの実証実験を実施</p>  <p>○NECや富士通がシステム開発に必要とする気候変動、地形や地質、土地利用などのデータを信州・気候変動適応プラットフォームで検討</p> <p>○部会：平成29年2月23日、3月第1週に開催予定</p>										
農業	温暖化に強い農産物の開発	<p>水稲、りんご、レタス、ぶどうの研究 [農業関係試験場]</p> <table border="1" data-bbox="550 1086 1364 1512"> <thead> <tr> <th>作物</th> <th>研究</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水稲</td> <td>・夏季の高温による白未熟粒・胴割れ粒等の発生による等級落ちを防ぐ研究 ・温室効果ガスの分圧が生育へ及ぼす影響の研究</td> </tr> <tr> <td>りんご</td> <td>・夏季の高温による着色不良・果肉軟化による品質低下を防ぐ研究</td> </tr> <tr> <td>レタス</td> <td>・夏季の高温による抽だい・結球異常などの生理障害による収量低下を防ぐ研究 ・作型に応じた適地評価に関する研究</td> </tr> <tr> <td>ぶどう</td> <td>・生育期間（4～10月）の積算気温の将来変化の研究</td> </tr> </tbody> </table> <p>○農業関係試験場が必要とする気候変動のデータを信州・気候変動適応プラットフォームで検討</p> <p>○部会：平成29年2月28日 ほか、環境保全研究所と農業試験場が随時打合せ</p>	作物	研究	水稲	・夏季の高温による白未熟粒・胴割れ粒等の発生による等級落ちを防ぐ研究 ・温室効果ガスの分圧が生育へ及ぼす影響の研究	りんご	・夏季の高温による着色不良・果肉軟化による品質低下を防ぐ研究	レタス	・夏季の高温による抽だい・結球異常などの生理障害による収量低下を防ぐ研究 ・作型に応じた適地評価に関する研究	ぶどう	・生育期間（4～10月）の積算気温の将来変化の研究
作物	研究											
水稲	・夏季の高温による白未熟粒・胴割れ粒等の発生による等級落ちを防ぐ研究 ・温室効果ガスの分圧が生育へ及ぼす影響の研究											
りんご	・夏季の高温による着色不良・果肉軟化による品質低下を防ぐ研究											
レタス	・夏季の高温による抽だい・結球異常などの生理障害による収量低下を防ぐ研究 ・作型に応じた適地評価に関する研究											
ぶどう	・生育期間（4～10月）の積算気温の将来変化の研究											
生態系	温暖化による高山帯動植物の変化	<p>本県の山岳地帯に生息する野生動植物の温暖化による分布域の変化を環境保全研究所が国立環境研究所と連携して研究</p>										

3 平成29年度の取組

(1) 予算要求額：9,583千円（諸収入）

※平成28年度予算額：9,974千円（諸収入）

(2) 事業内容

- ①防災、農業、生態系分野の研究継続
- ②暑熱分野の適応策の研究開始
- ③温暖化のリスクコミュニケーションを県下各地で開催

I C T 地域振興タスクフォース

企画振興部情報政策課



平成 28 年度 取組状況

項 目		取組事業【連携部局】		取組状況・主な成果
I C T 産 業 の 育 成 ・ 強 化	I C T を活用した働く環境の創出	信州ふるさとテレワーク推進事業【企画振興部、産業労働部】		<ul style="list-style-type: none"> ○県内におけるふるさとテレワークの取組を促進 <ul style="list-style-type: none"> ➢ テレワークの普及啓発のための市町村を対象としたセミナーを開催（参加者 55 人） ➢ 松本市、塩尻市、駒ヶ根市が、国の補助金を活用し、サテライトオフィスを整備（本年度中予定） 
	県内 I C T 産業・人材の育成	未来の I C T 人材育成支援事業【企画振興部、教育委員会】	信州未来アプリコンテスト 0 (ZERO)	<ul style="list-style-type: none"> ○小学生から 30 歳未満の若者を対象としたアプリコンテストの開催 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 今年度から小・中学生部門を追加（ほかに、高校生部門、大学生・一般部門） ➢ 応募のあった 18 組のうち、14 組を対象としたプレゼンテーション発表会を開催 
			I C T 人材育成事業補助金	<ul style="list-style-type: none"> ○若年層（小学校高学年・中学生）を対象としたプログラミング教室の開催について補助 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 8 団体、計 24 回に対して補助金を交付 ➢ 参加者数 180 名（12 月末現在） 
		ときどき&おためしナガノ【産業労働部】	<ul style="list-style-type: none"> ○県内でときどき（月 1～2 回、1 泊 2 日程度）仕事をする IT 人材及びおためし（3～6 か月）で生活・仕事をする IT 人材・企業に対し、交通費やオフィス利用料等について補助 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ときどきナガノ：29 人 148 回を採用 ➢ おためしナガノ：11 組 23 名を採用 	

項目		取組事業【連携部局】	取組状況・主な成果
ICT利活用の促進	新たな商品・サービス提供による産業振興	山岳遭難対策 ICT活用モデル事業 【企画振興部、観光部】	○登山計画書の届出と登山者の位置情報を提供する山岳遭難対策のモデルシステムの構築について補助 ➤ 運用主体:NPO 法人北アルプス ブロードバンドネットワーク ➤ システム運用開始日:平成 28 年 8 月 5 日
		カード決済導入セミナー 【産業労働部】	○カード決済（クレジット・電子マネー）導入のためのセミナーを市町村・商工団体等と連携して開催 ➤ 9市村で開催、170名が参加（12月末現在）
	地域・県民の利便性向上	オープンデータの提供 【企画振興部、各部局】	○防災をテーマに掲載データを拡充 ➤ 平成 27 年国勢調査（人口等基本集計）関係の 3 タイトルを追加、現在 33 タイトルを掲載 ➤ 各部局と連携し、オープンデータの掘り起こし

平成 29 年度 取組予定

項目		取組事業【連携部局】	取組内容【予算額】
ICT産業の育成・強化	ICTを活用した働く環境の創出	信州ふるさとテレワーク推進事業 【企画振興部、産業労働部】	○市町村向けの普及啓発 ○国の補助金等を活用する県内市町村の取組支援 【ゼロ予算】
	県内ICT産業・人材の育成	未来のICT人材育成支援事業 【企画振興部、教育委員会】	信州未来アプリコンテスト0 (ZERO) ○小学生から 30 歳未満の若者を対象としたアプリコンテストの開催 【798 千円】
		ICT人材育成事業補助金	○若年層（小学校高学年・中学生）を対象としたプログラミング教室の開催について補助 【2,560 千円】
	ときどき&おためしナガノ 【産業労働部】	○県内でときどき仕事をする IT 人材及びおためしで生活・仕事をする IT 人材・企業に対し、交通費やオフィス利用料等について補助 【10,808 千円】	
ICT利活用の促進	新たな商品・サービス提供による産業振興	カード決済導入セミナー 【産業労働部】	○カード決済（クレジット・電子マネー）導入のためのセミナーを市町村・商工団体等と連携して開催 【ゼロ予算】
	地域・県民の利便性向上	オープンデータの提供 【企画振興部、各部局】	○統計情報等を中心に掲載データを拡充（統計情報公開用ポータルサイト構築事業（4,047 千円）と連携） ○各部局と連携し、オープンデータの掘り起こし 【ゼロ予算】

